



腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和8年4月2日(木) 速報 令和8年4月7日(火)

2 患者数

1名(男、20代)

3 概要

(1)経過

4月2日(木) 患者(岡山市)は、血便及び腹痛の症状を呈し、岡山市内医療機関(病院)を受診。同日、岡山市内医療機関(病院)へ入院。

4月6日(月) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O26)によるペロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

- ・患者は入院中であり、症状は継続中である。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和8年1月1日から
岡山市	5人
県内(岡山市を除く。)	6人
県内合計	11人

(岡山市の前年同時期の発生状況:3人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・石原 直通086-803-1251 内線5751